

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	那須町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	ホテルの里づくり事業	総事業費	65,141					65,141
		うち市町支出額	65,000					65,000
		うち県交付金	32,500					32,500
2	ミツマタ群生地周辺整備事業	総事業費	527,989					527,989
		うち市町支出額	527,989					527,989
		うち県交付金	263,994					263,994
3	大島ふれあい田んぼアートづくり事業	総事業費	922,998					922,998
		うち市町支出額	922,998					922,998
		うち県交付金	461,499					461,499
4	黒田原中心街賑わい創生事業	総事業費	266,799					266,799
		うち市町支出額	266,799					266,799
		うち県交付金	133,399					133,399
5	高久地区美観形成事業	総事業費	119,761					119,761
		うち市町支出額	119,761					119,761
		うち県交付金	59,880					59,880
6	田中地区地域交流促進事業(田中地区地域文化保存振興交流事業)	総事業費	57,216					57,216
		うち市町支出額	57,216					57,216
		うち県交付金	28,608					28,608
7	寄居地区魅力拡大事業(寄居地区地域交流事業)	総事業費	150,779					150,779
		うち市町支出額	150,779					150,779
		うち県交付金	75,389					75,389
8	那須の伝説「第14回那須九尾まつり」	総事業費	9,584,168					9,584,168
		うち市町支出額	7,000,000					7,000,000
		うち県交付金	1,500,000					1,500,000
9	「傾聴と在宅支援」による地域支え合い事業	総事業費	602,207					602,207
		うち市町支出額	488,497					488,497
		うち県交付金	244,248					244,248
10	竹のイノベーションを考える里山再生と地域振興	総事業費	2,664,959					2,664,959
		うち市町支出額	1,000,000					1,000,000
		うち県交付金	500,000					500,000
11	障がい者アートを活用した地域づくり	総事業費	1,640,765					1,640,765
		うち市町支出額	998,760					998,760
		うち県交付金	499,380					499,380
12	あかりキッチン	総事業費	200,600					200,600
		うち市町支出額	116,600					116,600
		うち県交付金	58,300					58,300
市町計		総事業費	16,803,382	0	0	0	0	16,803,382
		うち市町支出額	11,714,399	0	0	0	0	11,714,399
		うち県交付金	3,857,197	0	0	0	0	3,857,197

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	ホテルの里づくり事業
事業主体の名称	芦野地区地域づくり委員会
代表者の名称	田中良夫
事業主体の所在	那須町大字芦野1332
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年11月21日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町は、自然豊かなリゾート地として県内外から人気で、移住希望者も少なくはないが、芦野地区は那須の人気エリアから離れており、若者の流出、高齢化が進み、将来的な地区機能の低下が懸念されてきた。また、町中心部から少し離れているという点は、ホテルが生息する自然環境をもたらしているが、住民にとってはホテルを観光できることは当たり前で、魅力であることが認識されていない。</p> <p>そんな中、数年前、数十年前に比べホテルが観光できる場所が少なくなってきているという声もあり、将来的にホテルまでが見られなくなってしまうことが懸念されている。そのため、いかにして住民自らが地域の魅力を認識し、ホテルの生息地を守りつつ、人を呼び込んでいかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルが生息する環境を活かし、発展させ、「ホテルの里」をつくる。 ・住民自身に地域の魅力を認識してもらう。 ・芦野地区の魅力(「ホテルの里」)を外にPRし、移住定住を促す。
事業概要	<p>【平成28年度】 《ホテルの里をつくる》 ①ホテルの目撃情報調査 12ヶ所、飛翔調査 8ヶ所を実施した。 ②ホテル生息地の整備方法等の学習会を開催した。講師:ながわ水遊園 目野先生 開催日:H28. 5. 22 参加人数:14名 ③生息地の清掃、整備を実施した。実施日:H28. 6. 4、H28. 7. 23 参加人数:42名</p> <p>【平成29年度】 《ホテルの里を周辺住民に周知する》 前年度の実施結果を踏まえ、以下のことを実施する。 ①ホテルの目撃情報調査、生息地の水質調査を実施する。 ③生息地の清掃、整備を実施する。3、4回実施し、計60名程度の住民参加を予定している。 ④ホテルの鑑賞会を開催する。地域内外から50名程度の参加を予定している。</p> <p>【平成30年度以降】 《ホテルの里を外へPRする》 前年度の実施結果を踏まえ、以下のことを継続的に実施する。 ①ホテルの目撃情報調査、生息地の水質調査を実施する。 ③生息地の清掃、整備を実施する。3、4回実施し、計60名程度の住民参加を予定している。 ⑤これまでの学習会、鑑賞会、清掃活動を踏まえ、住民自らが企画し、ホテルの里をPRする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①ホテルの目撃情報調査、飛翔調査 ②学習会の開催 ③生息地の清掃、整備				
事業費	65,141			65,141	
市町支出金 (ソフト事業分)	65,000			65,000	
うち県交付金	32,500			32,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	141	0	0	141	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	ミツマタ群生地周辺整備事業
事業主体の名称	伊王野地区地域づくり委員会
代表者の名称	佐藤幸一
事業主体の所在	那須町大字伊王野1383
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年10月16日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員、地区住民 等
当該事業に係る地域の現状と課題	伊王野地区は、地区内の自然を活かした観光を強みとし、住民も誇りに思っている。伊王野城山の一部の場所には、2月から5月頃にかけて黄色い花を咲かせる「ミツマタ」の群生地があるが、そこに向かう山道は非常に狭く、手入れがされていないため荒れており、また、伊王野地区を訪れる方のほとんどは、車を利用しているが、駐車場もないため、うまく誘客することができない。今後の課題としては、ミツマタ群生地へ続く道や駐車場を整備し、さらに、春になると桜や椿、ツツジの花が咲き誇る伊王野城山公園と併せて観光資源としていく必要がある。
事業目的	地域住民自らが、ミツマタ群生地の環境や取付道の整備に携わることで地域資源を最大限活用し、地域資源に触れ、地域住民の自然環境の保全意識の醸成、郷土愛の醸成を図る。また、花の開花時期が重なる伊王野城山公園と併せてPRすることで、観光誘客の相乗効果を図り、交流人口を増加させることをねらう。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①群生地へ続く山道は狭く、車が通ることができないため、住民自らの手により道幅を広げ、芦野石、砂利などを敷き詰める整備を実施した。 ②ミツマタが群生しているが、手入れがされていないため、倒木の撤去や下草刈りを実施した。また、群生地近くのミツマタの移植や、株分けを行いミツマタの株数を増やした。 <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①昨年に引き続き、住民自らの手により道幅を広げ、芦野石、砂利などを敷き詰める整備を実施する。整備区間の距離や、後半部は更に道幅が狭まり、勾配も急になるなどするため、2年に分けて実施する。 ②ミツマタ群生地の下草刈りを実施する。 ③スギの伐採、整地をし駐車場の整備を実施する。 ④ミツマタ群生地をPRするため、案内看板を設置する。 ⑤ミツマタ群生地をPRするため、チラシを作成する。 <p>【平成30年度以降】</p> <p>前年度の実施状況を踏まえ、継続的に実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)</p> <p>【目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①取付道路の拡張整備 ②ミツマタ群生地の環境整備、植栽				
事業費	527,989			527,989	
市町支出金 (ソフト事業分)	527,989			527,989	
うち県交付金	263,994			263,994	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	大島ふれあい田んぼアートづくり事業
事業主体の名称	大島地区地域づくり委員会
代表者の名称	平山幸昭
事業主体の所在	那須町大字漆塚732
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日: 平成20年12月1日 ・構成員等: 自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	大島地区では、地域住民が集う憩いの場として、河川公園の整備や余笹川流域の環境保全等、地域内の整備に取り組んできたが、地域外との交流はなかった。そこで、河川公園等の維持管理や利活用のため、こどもからお年寄りまで世代を越えた地域住民が主体となる大島ふれあい祭りを開催し、地域住民の一体感を培ってきている。しかし、依然として住民の地域外への流出が続いており、今後どのようにして郷土愛を醸成するかが課題となっている。
事業目的	町民主体のイベントである「大島ふれあい祭り」に併せて、田んぼアート、地域のマスコットキャラクターを作り、田んぼアート開催とまつり開催日を同時期にすることにより、まつりをさらに盛り上げ、町民の地域に対する愛着と一体感の更なる醸成を図り、さらには町内外からの参加者・見学者が増加することで住民の自信につなげ、住民の町外流出を抑制する。また、地域資源を活用するため、田んぼは休耕田を使用する。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域住民が田植えに参加し、田んぼアートづくりを実施した。テーマは「しまたん」。「しまたん」は、今回作成するマスコットキャラクターの名前である。 ②観覧場を作成した。 ③環境整備を行った。 ④マスコットキャラクターを作成した。実行委員会での話し合いの結果、酪農家が多数ある地域のため、親しみやすいところから女の子の子牛となった。運動会などの小学校行事や敬老会などの地域行事、さらには、県内外のキャラクターが集まるイベントに参加し、元気な大島地区をアピールした。 <p>【平成29年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を踏まえ、以下のことを継続的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域住民が田植えに参加し、田んぼアートづくりを実施する。テーマは未定だが、28年度の結果を踏まえて実行委員会で検討する。 ②観覧場を作成する。 ③環境整備を行う。 ④マスコットキャラクターを活用して、地区の魅力をPRする。 <p>※大島ふれあい祭りは、小学生達によるよさこいなどのステージ出演や牛乳の無料配布、地域住民による各種模擬店などが多数出店し、集まるみんなが笑顔になれるお祭りである。年4、5回行われる住民による草刈により、会場である河川公園は維持されている。また、田んぼアートの開催は那須町では珍しく、会場から近い場所で行うことにより、来場者がより多くなることが見込め、住民の一体感と郷土愛が醸成される。なお、米は食用ではないため、刈取り後業者に引き取ってもらう。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の事業費計	
事業内容					
事業費	922,998			922,998	
市町支出金(ソフト事業分)	922,998			922,998	
うち県交付金	461,499			461,499	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	黒田原中心街賑わい創生事業
事業主体の名称	黒田原地区地域づくり委員会
代表者の名称	瀬尾清
事業主体の所在	那須町大字寺子丙81-44
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 地域の人人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日: 平成21年1月28日 ・構成員等: 自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町・黒田原地区は、那須町役場から程近く、JR黒田原駅もある那須町中心部のサービス業中心の地区である。特に駅前には、かつて商店が立ち並び多くの人が行き交う賑やかな場所であったが、少子高齢化や地区外への人口流出等により訪れる人は少なくなり、閉店した店もあるなど、休日でも閑散とするようになってしまった。そのため、平成21年に黒田原地区地域づくり委員会を組織し、平成26年度からは人の流れをつくるべく、遊休施設を活用した写真展示会などを行ったところ、かつての賑わいを彷彿とさせる盛況ぶりであった。</p> <p>しかし、展示会等の開催日以外は相変わらず人の往来はまばらであるため、いかにして継続的に人が訪れる場所にしていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若者の郷土愛を醸成する。 ・継続的に交流人口を増加させる。 ・黒田原地区の活気を取り戻す。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真撮影会の開催(2月) 黒田原地区の魅力の後生に伝えるため、地元住民だから知っている「次世代に残したい黒田原の原風景」の写真撮影会を開催した。 ○写真展示会の開催(3月) 駅前の遊休施設(「ぎやらいいなな」)を活用し、「心に残したいふるさと」の写真展示会を開催した。 ○講演会の開催(11月) 黒田原地区の開拓を行った山田顕義伯爵や歴史についての講演会を行った。 <p>○黒田原駅前映画祭への参加協力 若者の来場が見込める映画祭の会場に、展示会で使用した写真や賑わっていた頃の黒田原の様子を写したパネルを飾った。</p> <p>○各種団体等との交流会を開催 諸団体との連携体制を構築するため、意見交換会を開催した。</p> <p>【平成29年度以降】 前年度の実施結果を踏まえ、改善しながら継続・発展させていく。遊休施設の活用日数を増やす。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①各種団体等との交流会を開催 ②写真撮影会を開催 ③遊休施設を利用した写真展示会を開催 ④講演会を開催 ⑤「黒田原駅前映画祭」への参加・協力				
事業費	266,799			266,799	
市町支出金 (ソフト事業分)	266,799			266,799	
うち県交付金	133,399			133,399	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野つかさ
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須町
事 業 名	高久地区美観形成事業
事業主体の名称	高久地区地域づくり委員会
代表者の名称	相馬和至
事業主体の所在	那須町大字高久甲5175-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日: 平成21年1月29日 ・構成員等: 自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	高久甲地区は那須IC、那須街道、国道4号線などがあり、那須町の中では交通の便がよいこともあり、地区外から移り住んだ住民が市内でも比較的多い地区であるが、従来から住んでいる住民と転入者との交流が少ない。また、地区には丸山神社や本郷の翁塚、腰掛松などの史跡・名所が数多くあるなど、魅力的な地域資源があるにも関わらず、その魅力に気づいている住民が少ない。そのため、そこに住んでみたいと思うような地域への愛着をもつ住民が少ないのが現状である。そのため、いかにして地域の魅力を住民に伝えていくかが課題となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民同士の交流、話し合いの機会を設けることで、住民同士の共通理解とその地域の魅力を再認識させる。(住民自身が気づく) ・地域資源である史跡・名所等や散策路、地区景観を整備し、地区外に魅力を発信することで、地区外の人を呼び込む。(ファンを増やす) ・地区への愛着の醸成を図ることで、住み続けたいと思う人を増やし、転入者の増加、転出者の減少をめざす。(人が人を呼ぶ好循環)
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>①地域内の散策路や史跡・名所へ彼岸花を植栽し、地域資源としての再認識を図った。 日時: 平成28年7月3日(日)午前9時 内容: 高久地区史跡・名所周辺への彼岸花の植栽</p> <p>②史跡・名所周辺の環境整備を実施した。 日時: 平成28年7月、10月いずれも午前9時 内容: 史跡・名所周辺のごみ拾いや草刈り等の環境整備</p> <p>【平成29年度以降】</p> <p>前年度の実施状況を踏まえ、史跡・名所周辺の環境整備を実施し、高久地区の地域資源を町HPに掲載し高久地区をPRする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)</p> <p>【基本目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①彼岸花の植栽 ②史跡・名所周辺の環境整備				
事業費	119,761			119,761	
市町支出金 (ソフト事業分)	119,761			119,761	
うち県交付金	59,880			59,880	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	田中地区地域交流促進事業(田中地区地域文化保存振興交流事業)
事業主体の名称	田中地区地域づくり委員会
代表者の名称	高久政雄
事業主体の所在	那須町大字寺子乙944-2
事業主体の概要	・団体の目的:地域の人が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成21年1月27日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	田中地区には史跡や名所が数多く存在するが、それらの地域資源を住民全体で学習する機会が少なく、有効活用できていないのが現状である。住民全体で地域資源の理解を深め、田中地区を他の地域に売り込むことが今後の課題である。また、素晴らしい地域資源のある田中地区に誇りを持ち、郷土愛を醸成することで転出者の抑制を図ることが必要である。
事業目的	田中地域の史跡・名所をまとめた探訪マップ(H26年度田中地区地域づくり委員会作成)を活用して散策会を実施し、地域資源を住民全体で深く知ることで住民ひとりひとりが地域PRのセールスマンとなり、他の地域に田中地区を売り込むことができるようする。 また、地域資源を地域住民自らが継続的に維持管理、景観整備をすることで、地域への誇り、郷土愛の醸成を図りながら住み続けたい地域づくりを目指す。
事業概要	【平成28年度】 ①田中地区探訪マップを活用して散策会を開催し、地域資源を住民全体で学習するとともに地域住民の交流を図った。 日時:平成28年6月19日(日)午前8時30分 内容:田中地区探訪マップを活用し地域内の史跡・名所を散策しながら学習した ②史跡・名所周辺の環境整備を行った。 日時:平成28年6月、7月、8月いずれも午前9時 内容:ゴミ拾い、草刈り、史跡・名所看板の補修等 【平成29年度以降】 前年度の実施状況を踏まえ、史跡・名所周辺の環境整備を継続して実施するほか、 ③探訪マップを活用した田中地区のPRをする。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①散策会の開催 ②史跡・名所周辺の環境整備				
事業費	57,216			57,216	
市町支出金 (ソフト事業分)	57,216			57,216	
うち県交付金	28,608			28,608	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須町
事 業 名	寄居地区魅力拡大事業(寄居地区地域交流事業)
事業主体の名称	寄居地区地域づくり委員会
代表者の名称	鈴木隆
事業主体の所在	那須町大字寄居1856
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日: 平成21年3月17日 ・構成員等: 自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>これまで笹平湿地の木道や初花清水周辺等、地域の史跡・名所の整備を進めてきたが、整備した地域資源等を地域全体で学習する機会が少なく、有効活用できていないのが現状である。</p> <p>住民全体で地域資源の理解を深め、寄居地区を他の地域に売り込むことが今後の課題である。また、素晴らしい地域資源のある寄居地区に誇りを持ち、郷土愛を醸成することで転出者の抑制を図ることが必要である。</p>
事業目的	<p>散策会を通して地域資源を地域住民全体で深く知るにより、住民ひとりひとりが地域PRのセールスマンとなり、寄居地区を他の地域に売り込むことができるようする。</p> <p>また、地域資源を住民自らが継続的に維持管理、景観整備することで、地域への誇り、郷土愛の醸成を図りながら住み続けたい地域づくりを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>①散策会を開催し、地域資源について深く理解するとともに、地域住民の交流を図った。 日時: 平成28年7月31日(日)午前8時30分 内容: 寄居地区内の史跡・名所の散策(歩行距離約4km)</p> <p>②スイセンを植栽し、景観を整備した。 日時: 平成28年11月12日(土)午前9時 内容: スイセン1,000球を植栽し景観整備を行った。</p> <p>③史跡・名所周辺の環境整備を行った。 日時: 平成28年5月、7月、11月、12月いずれも午前9時 内容: ゴミ拾い、草刈り、木道等の補修</p> <p>【平成29年度以降】</p> <p>前年度の実施状況を踏まえ、史跡・名所周辺の環境整備を継続して実施するほか、</p> <p>③寄居地区名所・旧跡マップ(H25寄居地域づくり委員会作成)を地域外に配布、町HPに掲載し寄居地区をPRする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容					
事業費	150,779			150,779	
市町支出金 (ソフト事業分)	150,779			150,779	
うち県交付金	75,389			75,389	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
連絡先	電話 0287-72-6935
	FAX 0287-72-1133
	E-mail kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	那須の伝説「第14回那須九尾まつり」
事業主体の名称	那須九尾まつり実行委員会
代表者の名称	那須九尾まつり実行委員会 会長 高久 勝
事業主体の所在	〒329-3292 栃木県那須郡那須町大字寺子丙3-13(那須町観光商工課)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域資源を再発見し郷土愛の意識を高め、地域活性化、観光の振興などに資することを目的とする。 ・設立年月日:平成10年7月1日 ・構成員等:主催 那須町、那須町商工会、那須野農業協同組合、(一社)那須町観光協会、那須町森林組合、那須町社会福祉協議会
当該事業に係る地域の現状と課題	那須九尾まつりは、市内で別々に開催されていたイベントを、集客効果を高めるために、統合したイベントである。毎年9月最後の日曜日に実施され、今年で14回目を迎える。震災の風評被害で一時来場者数が落ち込んだが、昨年は参加団体87団体、105店舗が出店し、48,000人が来場するほどの大きなイベントに成長している。しかし、まつりにより誘客した観光客による市内の農林畜産物の消費につながっておらず、いかにして、まつり開催後も観光客に市内を回遊してもらえようなまつりとするかが課題となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・那須九尾まつりにおいて、市内の観光スポット、八溝山村、農畜産物、地域産業、伝統文化等の魅力を伝える(ファンをつくる)。 ・まつり来場者ひとりひとりが、那須の魅力をPRしてもらうことで、興味をもつ人を増やす(ファンがファンを呼ぶ好循環)。 ・興味をもったファンが市内回遊することで、観光消費や農畜産物等の地域産業の生産の増加を図る(観光意欲、消費意欲を上げる)。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>○「第14回那須九尾まつり」の開催 日時:平成28年9月25日(日)10:00~15:00 場所:那須町余笹川ふれあい公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ①観光情報や地域団体等の紹介・展示コーナーを設置し、那須の魅力を最大限発信したことで更なる観光誘客につなげた。 ②八溝杉を使ったアクセサリ作りや上棟式を実施し、木目や赤身の美しさ、曲げに強い特徴をPRし、八溝杉の利用拡大につなげた。 ③9種類の那須産食材を使った日本一なが〜いお稲荷巻や、手打ちそばやすいとんなどの郷土料理を提供し、作り手の顔が見える安心安全な那須の農畜産物の消費拡大につなぐ事ができた。 ④地域密着型の自転車プロスポーツチームや耐久性・耐熱性に優れた芦野石などをPRし、特色ある地域産業の発展につなげた。 ⑤九尾の狐伝説にまつわる伝統芸能である白面金毛九尾狐太鼓、九尾みこし、九尾よさこい踊り等の伝統文化を伝え、那須にしかない「まつり」を演出し郷土愛の醸成につなぐ事ができた。 <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスメディアへの掲載・発信(新聞折込、雑誌(るぶる等旅行系、タウン情報誌)、全国見るナビサイト、ラジオ(ららなすタイム)) ・黒磯駅、黒田原駅に横断幕を掲示(1ヶ月間) <p>【平成29年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の実施結果を評価分析し、一層の観光客誘致に向けて継続して開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>【KPI】観光(宿泊・日帰り)総消費額(類型) 422億円→482億円、農畜産物生産額 94億円→113億円</p> <p>【基本目標2】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【KPI】地域ブランド調査観光意欲度全国ランキング 184位(H26) → 100位以内(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①観光情報や地域団体等の紹介・展示コーナーの設置 ②八溝杉のPR ③安心安全な食の提供 ④特色ある地域産業のPR ⑤伝統芸能の披露				
事業費	9,584,168			9,584,168	
市町支出金(ソフト事業分)	7,000,000			7,000,000	
うち県交付金	1,500,000			1,500,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,584,168	0	0	2,584,168	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	「傾聴と在宅支援」による地域支え合い事業
事業主体の名称	傾聴と在宅支援のボランティア・のぼらん
代表者の名称	竹原 典子
事業主体の所在	那須町大字高久甲496-12
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 傾聴と在宅支援のボランティアを必要とする人たちのための活動を行う。 ・設立年月日: 平成25年4月1日 ・構成員等: 本会の目的に賛同し、原則として傾聴ボランティア養成講座または、傾聴研修会を修了した者で、本会のボランティア活動に参加する者(平成28年9月1日現在8名)
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町の高齢化率は、平成27年10月に県内ワースト2位(33.8%)となり、その後も上昇し、平成28年9月1日現在で35.1%となり、全国よりも20年早く高齢化が進み、それに伴う介護需要が急増している。特に、在宅介護を必要とする高齢者が増え、介護する家族等の負担感は大変厳しいものとなっている。介護する側は、介護の悩みを共有できる人がいない、あるいは家族の理解がないことで不安が募り、一方、介護を受ける側は、認知症で意思疎通がうまくできないなど、双方が心身ともに疲れ果てている状況となっており、地域福祉を支える基盤が揺らいでいる。そのため、地域の支え合いや交流の機能の維持し、住み慣れた地域でできる限り自分らしく暮らし続けられるように、いかにして地域コミュニティを支える人材を支援していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護をしている方などが、「傾聴」に関する技術を学ぶことで、他者への理解や介護の現場で活用してもらおう。 ・介護する方向士の悩みなどを共有する交流会を開催することにより、地域とのつながりを促進し、介護者の負担感を和らげる。 ・地域を支える人材を支援・育成することで、地域を支え合う仕組みをつくる。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>①傾聴研修会の開催 実施日:平成29年2月22日、23日、3月1日、2日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者:25名 ・目的:外部講師を招へいして、声かけや対応の仕方などの傾聴に関する知識・技術を学び、参加者同士が交流することで、地域を支え合うための基礎をつかった。 <p>②ケアラズカフェ「野の花」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的:孤独になりがちな介護者(ケアラーズ)が参加する定期的な交流会を開催し、在宅介護現場における課題・悩みを共有することで、スキルアップを図った。 ・実施日:毎月1回開催 <p>③エンディングノートの作成、配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的:財産の管理方法、遺言、介護方法などを整理することにより、介護状態になった場合でも、自分の意思を正確に伝えられる。 <p>これにより、高齢者本人と介護する側の今後の不安解消につながり、安心して生活が続けられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行部数:1,000部 <p>【平成29年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を踏まえ、以下のことを実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①傾聴と在宅支援のボランティアのためのフォローアップ傾聴研修会を開催する。 ②ケア(介護)する人たちのためのケアラズカフェ「野の花」を開催する。毎月1回 ③現在元気な高齢者の終末期準備としてのエンディングノートを作成し、配布する。 ④在宅介護や認知症の理解を深めるための啓発活動(講話会、講演会など)を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	支援期間の事業費計			
事業内容	①傾聴研修会の開催 ②ケアラズカフェ「野の花」の開催 ③エンディングノートの作成、配布				
事業費	602,207			602,207	
市町支出金(ソフト事業分)	488,497			488,497	
うち県交付金	244,248			244,248	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	113,710	0	0	113,710	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	竹のイノベーションを考える里山再生と地域振興
事業主体の名称	那須の道を美しくする100人の会
代表者の名称	瀧 昭典
事業主体の所在	那須町大字高久乙2905-45
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 那須の自然を守り景観の美化に寄与すること ・設立年月日: 平成19年12月3日 ・構成員等: 団体の目的に賛同したもの
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町芦野は、奥州道中の宿場町、城下町として発展し、松尾芭蕉や西行の歌や国も詠まれた遊行柳(国指定名勝)をはじめとして、歴史史跡などが数多く点在し、休日には歴史の息づかいを感じようと多くの観光客が訪れる。この地区には竹林が点在しているが、竹は利用価値のない厄介者として放置され、放置竹林の根が周囲の森林に侵入し、森林全体の荒廃、景観悪化等の一因となっている。当団体は、ごみ拾いや落ち葉さらいなどを通して、那須町の自然環境・景観を保全する取組を行ってきたが、このまま竹林の荒廃が進むと地域資源の魅力も減少することとなる。そのため、いかにして手入れがされず荒れてしまった竹林を整備し、竹資源を再び見直し価値を見出すイノベーションを考え、元氣な芦野里山を未来につなげていこうかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・竹関連の音楽演奏、ワークショップ等を行い、参加者が竹に直接触れる体験をしてもらうことにより、竹を身近に感じ、利用価値を考え、放置竹林の問題と里山の一部としての利活用の方法を考えていくきっかけをつくる。 ・点在する散策エリア、歴史探訪の起点である唐木田竹林及びその周辺において、五感を震わせるイベントを開催することにより、地域の住民、観光客にとっての拠点となる場所をつくり、芦野の観光スポットへ回遊する観光客を増加させる。 ・芦野の景観、地域資源を保全することにより、住民が地域を誇りに思う意識を醸成し、そこに住み続けたいと思う住民を増やす。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「那須芦野竹灯りイベント」の開催 ○開催日: 10/1(土) ○参加人数: 約600名 ○開催場所及び内容: <ul style="list-style-type: none"> 第1部 東陽小学校体育館(旧芦野小学校) <ul style="list-style-type: none"> ・竹のワークショップ 那須高原作家協会による竹灯籠のペイント、竹の楽器(竹ポックリ)などの工作教室 ・竹の打楽器(トルン)コンサート 演奏者: 小栗久美子(トルン)、森川拓哉(ヴァイオリン・ピアノ)、立岩潤三(パーカッション) 第2部 芦野唐木田竹林 <ul style="list-style-type: none"> ・竹灯り回遊路 会場内に竹筒を設置し、上部の切口からもれる、ろうそくの灯りで会場の雰囲気演出 <p>※資金調達は、クラウドファンディングを活用し、効果的な資金調達、PRを行った。また、参加者(地元住民、観光客)もイベントと一緒にをつくっているという一体感を醸成した。</p> <p>※イベントの周知方法は、SNS(フェイスブック)、ホームページのほか、チラシの配布やラジオ、クラウドファンディングを活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹林の整備を実施した。 <p>【平成29年度以降】</p> <p>前年度の取組の検証・分析を踏まえ、以下の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹林を有効活用できる体制を整える。 ・伐採・抜根後、ウッドチップを利用して竹林の整備を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容					
事業費	2,664,959			2,664,959	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000			1,000,000	
うち県交付金	500,000			500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,664,959	0	0	1,664,959	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	障がい者アートを活用した地域づくり
事業主体の名称	つながるひろがるアート展Nasu実行委員会
代表者の名称	伊藤 七男
事業主体の所在	那須町大字豊原乙1189
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 那須在住のハンディキャップのある作家たちが描いた絵画を通して芸術の素晴らしさを地域住民や観光客へ周知する。</p> <p>・設立年月日: 平成20年4月1日</p> <p>・構成員等: 「つながるひろがるアート展Nasu」の開催主旨に賛同し協力できる企業、団体、個人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須地域には、障がいがありながらも芸術的な才能を持った作家が多い。障がい者アートは魅力的な地域資源だが、住民や観光客は、障がい者アートに触れる機会がなく、鑑賞したことがない人が大勢おり、障がい者の芸術的な才能を知ることができない。また、那須地域の福祉施設等でも障がい者自身が絵を描いたり、鑑賞する機会が少ない。</p> <p>このため、幼い頃から障がい者アートに触れる機会を作り、多様な価値観や豊かな人間性を育む必要がある。また、作家達と交流することで偏見やいじめを無くしたり、障がい者アートが、より多くの人の目に止まる機会を増やすことが必要であり、いかにして、障がいの有無に関わらず人と人がつながり、それを広げていくか、さらに、アート活動を通じて障がい者が積極的に社会に参加、貢献できるようにしていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・障がい者アート展、ワークショップなどの障がい者の芸術的な才能に触れる機会をつくることで、地域住民及び観光客等の障がい者への理解を深めるきっかけをつくるとともに、障がい者自身の隠れた才能を発掘し、障がい者が積極的に社会に参加、貢献できる地域をつくる。</p> <p>・幼児期からの障がい者理解を深め、豊かな人間性を育むことにより、多様な価値観・個性を認め合う地域社会をつくり、全ての人にとって住みやすいまちをつくる。</p> <p>・障がい者アートが魅力的な地域資源であることを認識してもらうことで、積極的な活用を図り、新たな人の流れをつくる。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>○障がい者アート展及び関連イベントの開催</p> <p>・つながるひろがるアート展Nasu 場所: 那須地域のホテル、レストラン等 開催期間: 11月3日(木)～11月24日(木)</p> <p>那須地域在住の障がいのある作家の作品を個展形式で展示し、障がい者の芸術的な才能と、理解を深める取組を行った。</p> <p>周知方法: 新聞折込のほか、県内外の福祉施設や美術関係者等にポスター、チラシ、ダイレクトメールを配布した。</p> <p>・障がい者アートワークショップ 会場: 那須どうぶつ王国 開催日: 11月3日(木)</p> <p>障がい者アートに興味をもってもらうために、地域の障がい者と来場することも対象に、共同で絵を描くアートワークショップを行った。</p> <p>・講演会 会場: ゆめ・プラザ那須 開催日: 平成29年2月25日(土)</p> <p>障がい者アートの認知度を向上させるため、外部講師を招いて「障がい者アートの地域づくりについて」をテーマとして開催した。</p> <p>・音楽イベント 会場: ギャラリーバーン 開催日: 11月8日(日)</p> <p>障がい者の音楽的な才能を理解してもらうために、那須町在住の歌手と障がい者とセッションを行い、つながるひろがるアート展の作品に合わせた演奏をした。</p> <p>○各団体主催イベントへの作品出展(作品展示等) イベント: アースデイ那須、Viewing店(栃木県障害者芸術展)、新春色紙展</p> <p>アート展で展示する作品を広く町内外の人(特に観光客)に認識してもらうため、各種団体イベントに併せて展示した。</p> <p>○障がい者アート図録(イラスト集)、絵画作品カレンダーの作成、配布</p> <p>障がい者アート展での作品等をまとめたものを、町内の各種施設へ配布し、まち全体で障がい者への理解を深める取組を行った。</p> <p>・イラスト集 配布先: 美術館関係者、福祉施設等 部数: 600部</p> <p>・絵画作品カレンダー 配布先: 町内の保育園、幼稚園、小学校等 部数: 3,000部</p> <p>※認知度向上のため上記のイベント、配布物は無料とした。</p> <p>【平成29年度以降】</p> <p>前年度の実施結果を踏まえ、検証・改善を行ったうえで継続して実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)</p> <p>【目標2】子育て世代に選ばれる地域戦略</p> <p>【基本的方向】特色ある教育による成長の支援と教育の充実</p> <p>【KPI】合計特殊出生率 1.39(H26) → 1.48(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度			支援期間の事業費計	
	事業費	市町支出金(ソフト事業分)	うち県交付金	市町支出金(ハード事業分)	うち県交付金
事業内容					
事業費	1,640,765			1,640,765	
市町支出金(ソフト事業分)	998,760			998,760	
うち県交付金	499,380			499,380	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	642,005	500,000	500,000	642,005	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	あかりキッチン
事業主体の名称	あかりキッチン
代表者の名称	川崎 ノブ子
事業主体の所在	那須町大字高久丙5375-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域社会における独居高齢者及び日中独居高齢者、また食事作りが不自由な高齢者世帯と食を通して交流し健康増進、改善を促進し、高齢者が笑顔をふやし、生きがいを見出すこと、これに高齢者の見守りもかねて行うこと。</p> <p>・設立年月日:平成28年7月1日</p> <p>・構成員等:那須町大島地区内に居住する町民</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>急速な高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者や日中をひとり過ごす高齢者が増えている。寝たきりや認知症を予防し健康寿命を延ばすためにも、高齢者が他者と交流できる場が必要であるが、そのような場が少ない。</p> <p>さらに、高齢者は硬いものなどの食べにくい物を避け、栄養が偏る傾向がある。食事作りが不自由であったり外出困難な高齢者も増えている。健康の基本である食を通して、他者との交流の場を広げ、だれもが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるようにすることが課題となっている。</p> <p>また、大島地区の子どもが通う小学校近くに、放課後児童クラブをH28年中に建設する予定である。夏休み等の長期休みも子どもの受け入れを行うが、学校給食が休みになるため、毎日の昼食作りは働く保護者には大きな負担になる。安心して快適な子育て環境を提供するために保護者の負担を軽減することが必要である。</p>
事業目的	<p>・高齢者とスタッフが共に調理し、食事を通じて交流を図ることで、高齢者への栄養指導を行い、健康状態を把握する。また、食を通して交流することにより、寝たきりや認知症を予防し健康寿命の延伸を図る。食事交流会に参加できない高齢者については、スタッフが見守りを兼ねて定期的な弁当宅配を行い、高齢者の日常生活の変化などを感知することで、高齢になっても、安心して住み続けられる地域になる。</p> <p>・小学校や放課後児童クラブと連携し、夏休み中の昼食づくりをすることで、働く保護者の負担を軽減し、安心して快適な子育て環境を提供する。また、食育活動を行うことで、地域の貴重な子ども達の健全な成長に貢献し、地域住民が栽培した野菜を使用する事で、地産地消を推進し、食を通して地域づくりを図る。全体を通して安心・快適な子育て環境の提供につなげることができ、大島地区の定住促進にも寄与する。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>①食事交流会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的:一人暮らしの高齢者と他者との交流。栄養指導、日常生活の変化等の感知。 参加者:計280名 実施日:毎月30日 場所:穂積公民館 <p>④研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容:一人ひとりの暮らしを地域で支える <p>【平成29年度】</p> <p>①食事交流会の開催 対象者数:20名程度 実施日:毎月30日 場所:穂積公民館</p> <p>②見守りを兼ねた定期的な弁当宅配の実施 週1回 20食程度</p> <p>④研修会への参加</p> <p>【平成30年】</p> <p>①食事交流会の開催 対象者数:20名程度 実施日:毎月30日 場所:穂積公民館</p> <p>②見守りを兼ねた定期的な弁当宅配の実施 週1回 20食程度</p> <p>③放課後児童クラブの昼食づくりの実施 週2回 30食程度 夏休み期間</p> <p>④研修会への参加</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】安心して確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)</p> <p>【目標2】子育て世代に選ばれる地域戦略</p> <p>【基本的方向】出産・子育ての負担軽減</p> <p>【KPI】合計特殊出生率 1.39(H26) → 1.48(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	①食事交流会の開催 ④研修会への参加				
事業費	200,600			200,600	
市町支出金 (ソフト事業分)	116,600			116,600	
うち県交付金	58,300			58,300	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	84,000	0	0	84,000	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり推進グループ
担当者名	内野 つかさ
電話	0287-72-6935
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp